

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

さきほど ろうどく した アーヤ の なか で、いとたかき アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) は、つぎ の ように つげて おられます。「**ぜんじ を もつて くる もの には、それ とおなじ ような もの が 10 ばいに される。あくじ を もつて くる もの は、それ とおなじ ような もの で むくいられる だけ。かれら が、ふせいに あつかわれる こと は ない。**」

1

また、アッラー の しと (かれ の うえ に しゅくふく と へいあん あれ) は、ハディース の なか で つぎ の ように かたつて います。「**びとく とは しんせつ な きごころ の こと である。あく とは、あなた の こころ に くいこんで いて、けつして たにん には みられたく ない と おもつて いる もの の こと である。**」²

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

このよ の せい とは、ぜん を なす たび の ような もの です。わたしたち の もっとも じゅうよう な ぎむ とは、しんこう し、ぜんこう を なし、ちじょう に ぜん を ひろめる こと です。わたしたち の もっとも きほんてき な ぎむ とは、わるい こと、ふてきせつ な こと、ゆうがい な おこない を さけ、ふせぐ こと です。アッラー、しんぱん の ひ、てんしたち、けいてん、よげんしゃたち を しんじる こと は ぜんこう に あたります。それは じぶん の もてる もの の なか から、しんせき、おや を うしなつた こどもたち、まずしい ひとびと、たびびと の ために じぜん を する こと を いみ します。れいはい を し、きしゃ (ザカート) を はらい、やくそく を まもる こと であり、まずしい とき、びょうき の とき、こんなん の ときには たすけあい、とめる とき、すこやか な とき は アッラー (スプハーナ ワ タアーラー) に かんしゃ する こと を いみ します。

3

ぜんこう を なす には、せいじつ な しもべ である こと、れいぎ たいだい こども である こと、じひぶかい りょうしん である こと、せいじつ な はいぐうしゃ である こと が もとめ られます。それは しんせき や りんじんと、よろこび や かなしみを わかちあう こと を いみ します。ぜんこう とは、よくあつ された こじに、おいた りょうしん に、めうえ の ひとびと に て を さしのべる こと です。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

この こと を ふまえて、いま から でも わたしたち の せい に いみ を もたせ ましょう。ぜんこう に よつて ひとびと の こころ を かちとり、ドゥアー を して もらえる ように なりましょう。ひつよう と して いる ひと に、おもいやりの て を さしのべ ましょう。こどくな ひと の こころ に、おもいやりの こころ を とどけ ましょう。つかれて いる ひと は いないか めくばり を し、こころ が はれる ように して あげ ましょう。あく は ふへいふまん を いう こと に よつて で は なく、たちむかい、ぜん を ひろめる こと に よつて ふせげる のだ という こと を わすれ ない ように しまししょう。ぜん とは くちさき の こと でも、よんだり かいたり する こと でも なく、こうどう そのもの なのです。

¹ An'am, 6/160.

² Muslim, Birr, 15.

³ Baqarah, 2/177.